

事業名

「みたか・みんなの広場」～点から線、線から面へ紡ぐ市民活動の拠点と多世代市民の集いの場づくり

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200字以上～300字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	<p>カフェ来場者は年間 2,185 名（4 月～2 月）であり、これは当初の予定 5,000 名は下回っているが、池袋のみんなの縁側の来場者が月間 200 名であることを考慮すると、評価できる来場者である。</p> <p>サロン開催は、年間 48 回を予定していたが、実績としては 124 回のものぼる。また、新しいサロン主催者が 5 名あったこと等、サロン事業は成功であった。</p> <p>その他相談事業として 240 名を予定していたが、これは 5 名の実績に終わった。本格的相談に至らない相談も少なくなかったが、一年では地元への浸透が難しく、残念な結果であった。</p>	4
2	市民性	<p>今回の事業は、市を含めた構成団体は 9 団体によるものである。カフェやサロンの運営に当たっては各構成団体のメンバー 20 名で担当した。また、サロンへの来場者は 2,000 名以上、サロン主催者は、構成団体以外の団体も参加した 15 団体であった。また、事業運営に当たっては、市内の様々な団体を接触を持ち、カフェの紹介やサロンへの参加紹介を要請した。市からもコミュニティ創生の先駆的活動として認めていただいております、市民に対して幅広い活動であった。</p>	5
3	波及効果	<p>今回のコミュニティカフェという事業は各団体ともはじめての取り組みであり、場所の選定、備品の準備、メニューの決定等試行錯誤をしながら進めて行かざるをえなかった。その結果、メニューの多様化、集客方法、チラシの効果等を試みるなかでいろいろなことがわかってきた。ただ、売上のアップという点ではまだまだであり、今後の課題である。今後、コミュニティカフェに取り組む活動団体に参考になりように活動結果をまとめていきたい。また、今後の市のコミュニティ創生の活動の中でも生かしていきたい。</p>	5
4	継続性	<p>事業開始に当たって拠点探しに苦労した経験を踏まえて、下半期に入ってから新拠点探しを始め、官民の両面から拠点探しを行ってきた。3 月になって漸く市民の方から空き住居を提供していただくことが可能になり、拠点を確保できたことで、事業として継続できることとなった。現在の構成団体も正会員または賛助会員として活動を継続し、資金負担をお願いすることで、当面の資金を確保することが可能となった。今後も事業のなかでの資金の調達を行っていきたい。</p>	5

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

5	マルチステークホルダー・プロセス	<p>今回構成メンバーとなった団体は、これまでほとんど交流もなく、この活動の趣旨に賛同していただいた方々である。したがって、当初は会議での意見調整は簡単ではなかったが、活動が具体化するにしたがって、協議体としてのまとまりが出てくるようになり、決定事項についてもスムーズに運ぶようになった。そして、来年度への活動にあたって、全員参加で移行ができることは、マルチステークホルダーとしての協調性や役割分担がうまく運ぶようになったことを表している。</p>	5
---	------------------	--	---

合計点

24

ランク

S